

3. 君も続こう！ 合格者の声！ ***「情熱は全ての困難を克服する」***

1. 早稲田大学商学部	福岡高校卒	歴代センターE 判定から逆転合格
2. 東北労災看護専門学校	泉高校卒	苦手な英語を克服
3. 北海道大学工学部	高認試験	センター試験では6倍にアップ
4. 宇都宮大学工学部	仙台第三高校卒	苦しみのは大学というパラダイス
5. 仙台徳洲会専門学校	宮城学院女子大卒	充実した3ヵ月で合格
6. 千葉大学/教/小学校	東北学院高校卒	国公立大学以外なら働く
7. 宮城教育大学/初/教	高認試験	東北大学に希望の学部がないのが残念
8. 山形大学医学部/医	青森東高校卒	メリハリある勉強が合格への近道
9. 金沢医科大学医学部/医	釜石南高校卒	部活の先輩の紹介で正解
10. 名古屋大学医学部/医	筑波大学卒	センター824/900点二次1320/1650点で合格
11. 中央大学法学部/政経	山形南高校卒	将来の夢を見つけるのが合格への近道
12. 明治大学政経学部	福島西高校卒	偏差値30台からの挑戦
13. 山形大学理学部/数理	高認試験	理解しただけではダメ！
14. 防衛大学校理工	石巻西高校卒	災難続きだったこの1年
15. 北陸大学薬学部	磐城第一女子高校卒	サプライズがやってきた
16. 東北福祉大学総合マネ	聖ウルスラ学院英智高校卒	一発勝負の怖さ
17. 宮城大学看護学科	気仙沼高校卒	英語の得点が66点から152点にアップが勝因
18. 東京薬科大学薬学部	私立・明桜高校卒	暗記中心で限界、理解中心に変更で合格
19. 武蔵野大学人間社会	仙台二華高校卒	看護から進路変更
20. 東京農業大学国食情報	仙台第二高等学校	一筆啓上

1. 早稲田大学 商学部合格 福岡高卒 F・HARUKA

歴代:センター型E判定逆転合格1位

「やったー！早稲田大学合格！」

当初は国公立大学希望でしたが、浪人が決まってからは早稲田大の法学部を目指しておりました。過去の入試問題を当ってみて感じたことは、問題の相性の善し悪しが得点に大きく左右するということでした。入学テストでの成績は、現代国語:100/100点・古文漢文:69/100点、英語:109/200点、政経:71/100点という結果で英語の攻略こそが合否の要であると思い、入学早々齋藤先生に個人指導を2回/週ほど約80回分の90%を英語に残りは古文・漢文に当てて指導を受けました。

偏差値の推移は以下のとおりでしたが、あせる必要はないと思います。要は一般的な偏差値や学力がいくらあっても特定大学にも通用するかどうかは、別ものであるということです。5月記述偏差値71.0・6月マーク偏差値62.9・7月記述偏差値66.8・9月マーク偏差値63.6・10月偏差値62.2・11月偏差値65.7で、判定は最後までE判定でしたが、偏差値に惑わされる必要はないと思います。

早稲田大の法学部より商学部の過去問題には相性がよく90%得点ができるようになりました。高校時の担任に報告に行ったら「十年在籍しているが浪人して早稲田に合格した生徒は初めてだ！」と喜ぶやら驚かれるやら大変でした。とにかく「やったー！早稲田大学合格！」

2. 東北労災看護専門学校

泉高校卒 N・ERI

授業料なしで、親孝行！

私は仙台文理に入った当初は、文系の科目、特に英語が絶望的なほどにできず、分からない所が分からない程でした。しかし、基礎の文法や単語、イディオムを一から丁寧に教えてくださったので、苦手なところが自分で分かるようになり、更に授業の始めに単語テストを毎日してくださったので、嫌でも一日数時間は英語に触れ、徐々に苦手意識をなくすことが出来ました。

私は、国数英の3教科しか授業を取っていなかったもので、一教科にあてる自習時間がとても長く、集中が切れたり何をすれば良いのか分からなくなったりすることが度々ありました。そんな時、お互いの気分転換として雑談を交わしてくれる友人や、アドバイスをくださる先生がいたので嫌気がさすことなく1年間継続して勉強できました。また、同じ自習室にいる人達がかかり集中していたので、それを見て「自分も頑張ろう」と思えるような環境であったのも、合格した一つの要因だったと思います。

家族の応援がなければ、絶対にここまで勉強に専念できなかつただろうと思います。また、浪人したことで毎日のように、本当に自分は看護師になりたいのかと考えることが出来、改めて覚悟を決めることが出来たので、この1年間は無駄ではなかつたし、現役では得られない経験や志を持つことが出来て、自分にプラスになった1年であったと思います。

3. 北海道大学 工学部 合格

高認試験 N・KEISUKE

UP598/900点で歴代センター型アップ率第1位

118点がセンター試験では6倍以上(716点)にUP！

高校2年生と同年の9月末に入学した時の模試レベルのテスト結果は下記の結果が示すとおり全然出来ませんでした。高認試験とセンター試験レベルとの差がこんなにあるとは思いませんでした。一念発起し基本・基礎を徹底して繰り返し復習しました。高校を出ていないハンディがありましたので3月までは週に3回ほど英数国の個人指導で理解を完全にすることに徹しました。夏休み中には数Ⅲ・物・化一通り終わり、後は問題になれることを中心に勉強しました。もちろん、夏休みの終盤からは他の大学の過去問題を予備校から借りて問題に挑戦しましたがセンター試験対策も同時進行でしたので大変でした。今は、最後までやり通した満足感でいっぱいです。私が皆さんに言いたいことは始めたら最後までやり通すこと。勉強の仕方次第で成果の差がハッキリと出ますので、勉強の仕方が解からない場合は私の場合と同じように教えてもらってください。教えてもらったら、必ず最後までその方法に徹すること。そして、確実に学習時間を確保するためには授業や講習をしっかりと入れること。の三点です。総括すると“素直”にアドバイスに従うことが最も合格への近道であるということです。

入学からのセンター型成績の推移

18年	H9月模試	4月模試	9月模試	11月模試	1月センター
現代文	50/100点	92/100点	75/100点	82/100点	74/100点
古・漢	0/100点	55/100点	66/100点	15/100点	72/100点
数ⅠA	10/100点	38/100点	75/100点	84/100点	78/100点
数ⅡB	0/100点	45/100点	85/100点	64/100点	89/100点
英語	19/200点	75/200点	147/200点	116/200点	175/200点
物Ⅰ	8/100点	17/100点	85/100点	80/100点	84/100点
化Ⅰ	0/100点	17/100点	67/100点	81/100点	79/100点
現社	31/100点	53/100点	59/100点	63/100点	65/100点
合計得点	118/900点	392/900点	659/900点	585/900点	716/900点

4. 宇都宮大学 工学部合格

仙台第三高卒 E・MAKOTO

苦しみのは、大学というパラダイスが待っている！

高校の3年の”夏の甲子園地区予選”終了までは野球一筋でしたので、受験勉強を始めた当初は、「英語の5文型や数学の2次関数」などの基本も「？」という感じでした。東北学院大は合格しましたが、納得がいかず浪人しました。予備校では基礎の基礎から教えて頂きました。

高校受験の時はちょっと勉強勉強すればあつという間に点数が伸びましたが、国公立大学の5教科7科目の勉強の壁は厚く、なかなか成績が伸びず悩んでいた8月末に先生から「バランスを考えた学習を心がけること。理解したことを記憶しておくこと」とアドバイスを受け学習に対する視点が変わり徐々に成績は伸び始めました。あとはセンター試験が終了するまであきらめずに頑張れば結果はついてきます。苦みのはパラダイスが待っています。今は悔いがないように頑張れというしか言えません。

5. 仙台徳州会看護専門学校

宮城学院女子大卒

自分を信じ、努力を信じ」充実した3ヵ月間の結果は「合格！」

私が本格的に勉強を始めたのは10月になってからでした。それまでは、仕事の合間を見つけて「参考書を見る程度でしたが、全く問題が解けずこのままでは合格は厳しいと思い仕事を辞め塾に通い始めました。

とにかく他の受験生に比べ準備期間が短いため、人の3倍の効率と時間を費やさないと追いつけないという気持ちを常に持ちながら勉強しました。

勉強を始め上で最も重要と感じたことは、モチベーションと向上心を維持することでした。その日学習したものはその日の内に理解できるように努め、先生に質問するときは、自分でいろいろな解き方を試し、それでも解らない時だけ質問し、理解度を上げるようにしました。

また、私は自宅学習では集中できないタイプのため、毎日自習室で勉強しました。気持ちが緩みそうになった時は、「今サボって落ちてしまったら絶対に後悔する。ここで頑張らなければ、これからの人生でも何をしてでも中途半端になるのではないか。」と自分に言い聞かせ気を引き締めました。

勉強を始めてから2ヶ月ほどは勉強量に対してテストの結果が追いつかず、焦ることもありましたが、しかし、「努力は人を裏切らない」と信じて勉強に取り組んでいると成績が上がり始め手ごたえを感じるようになりました。それに何よりも一層勉強に力が入るようになり向上心を保ったまま試験に臨むことができました。

自分の努力を信じ、試験日まで一日一日を充実させることで「合格への道」は必ず開かれると思います。

6. 千葉大学 教・小学校

東北学院高卒 M・HIKARU

国公立以外の大学なら働く背水の陣！

2月初旬から徹底して基本の復習から始め UP 338/900 点

入学した時の成績は下記の結果が示すとおり 331/900 点と国公立大学受験するとは言えない学力でした。一年目は宅浪でしたが日常生活と学習環境が一緒ですので、勉強に集中できませんでした。原因はマンネリ化で気合が入りません。刺激がなさ過ぎです。何とか両親を説得し条件付(「来年、国公立大に合格しないなら働く」という、背水の陣で望むという)で仙台文理の門をたたきました。2月の募集開始と同時に、先ず英語の個人指導で基礎の基礎とも言うべき 5 文型から徹底して文法事項を学び直しました。結果、昨年とは違い、どこが重要なのか次第に理解できるようになったことが、今考えると合格の第一歩だったと思っています。

当初の目標大学は宮城教育大でしたが、成績の推移とともに勉強の仕方やポイントの見つけ方、解答への導き方などを学び、感触として見通しが立ったので目標大学を千葉大に変更しました。8時半から20時半まで、約一年間、最後までやり通した満足感でいっぱいです。私が皆さんに言いたいことは、始めたら最後までやり通すこと。勉強の仕方次第で成果の差がハッキリと出ます。勉強の仕方が解からないなら教えてもらうことです。教えてもらったら、必ず最後までその方法に徹すること。そして、確実に学習時間を確保するためには授業や講習をしっかりと入れること。の三点です。総括すると“素直”にアドバイスに従うことが最も合格への近道であるということです。最後に、先生方有難うございました。

5教科 331点から 669点で 338点UP！

入学からのセンター型成績の推移

入学時得点 331/900点

6月 マーク模試 498/900点

9月 マーク模試 556/900点

11月 マーク模試 552/900点

センター自己採点 669/900点

7. 宮城教育大学 初等・数学

高認試験 H・I

東北大学には希望学科がないのが残念！

私は小学校の先生を目指していましたが地元の東北大学には希望の学科がありませんので受験をしますが、気持ちは常に東北大に挑戦するつもりで勉強していました。高校時代の友人は、ほとんどが国公立大学希望だったので友人達に負けるわけにはいきませんでした。仙台文理での約一年間は、朝一番に登校し、授業時間以外は、夜は閉館まで自習室や空教室でひたすら学習していました。「勉強という字を分解すると、勉めを強いることだよ」との話を聞いたことがあります。まさに自分に強いることができないと勉強はできません。様々な欲望の中、集中し続けるには、強い願望と集中力・持続力が必要でした。学習を習慣化したことで、勉強は当たり前になりました。日曜・祝祭日も休まずに通い通した結果、神様のご褒美として合格させてくれたのだと思います。

最も、何度か先生に無理をしないでとブレーキをかけられました。「健康管理も受験のうち、先はまだまだあるのだから」というアドバイスで学習のペースを落としたこともありました。今はひたすら指導して頂いた先生に感謝です。

入学からのセンター型成績の推移

6月 マーク模試 529/900点

9月 マーク模試 660/900点

11月 マーク模試 650/900点

センター自己採点 733/900点

5教科 331点から 733点で 361点UP！

8. 山形大学 医学部合格

青森東高卒 H・SOUICHIRO U

メリハリある勉強に徹することが合格への近道！

予備校での受験勉強で感じたことは、効率よく勉強することが何よりも大切であるということです。

第一に、年間計画をしっかりと立てることです。私の場合は、夏までに多少無理をしても目標をクリアし、センター試験に出る範囲や分野をしっかりとこなしました。センター試験の基礎をしっかりとこなし結果、後期からの授業はもちろん記述の課題も無理なく自分の力になりました。

第二に、勉強しているふりはしないことです。休憩なしで、あまり長時間同じ教科や科目の勉強を続けるのは記憶の効率が悪いからです。私も1・2時間ほど勉強すると携帯電話をいじくったりして気分転換を図りながら休憩をとりました。この休憩の取り方ですが、だらだらととらないことです。5分なら5分、10分なら10分と決めて休憩を切り上げて勉強することができるかどうか重要です。また、質問することを恥ずかしがったり、面倒くさがったりしては何も身につけませんので、合格は遠のいていくばかりです。

第三に、質問するたびに一步一步合格へと近づいていくことを忘れないことです。第一わからないことをそのままにしておくと、勉強時間は長くなっても中身の効率が悪くなり、結果として勉強時間が短いということと同じことになります。勉強とは書いて字のごとく「勉つとめを強しいる」ことであると聞いたことがあります。まさに自分自身の弱さに勝つこと。同時に、集中すべき時には、集中して勉強し、休む時にはしっかりと休みなり気分転換を図りながら、メリハリのある勉強が何よりも大切だと思います。

最後に、私の体験を是非、後に続く受験生の役に立ててくれれば幸いです。

9. 金沢医科大学 医学部合格

釜石南高卒 K・KOUMEI

ラグビー部の1年先輩の紹介で入校して正解でした！

高校時代の3年間はラグビー一筋の生活でしたので、勉強のほうは医学部受験というには寂しい限りの実力でした。実は、予備校選びを某ゼミナールと迷っていました。いろいろ調べている内に偶然にも仙台で先輩と出会い生の情報を得ることが出来ました。その結果、先輩の強い勧めもあり私にぴったりの予備校だと感じ入校を決意しました。

私立医学部受験とはいえスベリ止めのない受験ですので、限られた時間内にいかにして医学部受験で合格レベルまで持っていかということが問題でした。全ての教科が勉強不足でしたので私のとっての最大の魅力は、やはり、1(講師)対1(生徒)で実施される個人指導でした。各教科・科目を一通り個人指導を受けたことで勉強のコツのようなものがわかってきました。個人指導を受けている時は、とても集中できるので効率が授業の3~5倍位ありましたがとても疲れました。勉強で特に気をつけたことは「やりっぱなしの勉強」にならないように復習は必ず実行しましたので、やったことはかなりの確率で解けるようになりました。日常生活では、月~金までほぼ毎日朝8時半から8時位まで個人指導と授業、自習室での自習と集中して出来て充実した10ヶ月間でした。休日はノルマが達成できた時は半日ほど、時には一日中、思い切り気分転換をしてモチベーションを保つようにしました。

進路や学習についてだけでなく、生活面についても親身になって相談にのって頂き有難うございました。一人ではとても合格できたかどうか疑問です。最後に、後輩の皆様へ一言。素直にアドバイスに従えば誰でも合格できますよ。

10. 名古屋大学 医学部合格

センター得点 824/900 点、二次得点 1,320/1,650 点で合格！

継続することの大切さや自分のレベルに合ったテキスト選択、志望校の赤本や出題傾向に合った実力を身につけることが大きく得点に影響を与えたことや集中力と勉強法の良し悪しも大切であることを証明できました。

大学受験に年齢は関係なく皆平等に、学力のみで合否が決まるということを改めて実感した次第です。

受験 6 ヶ月前までバイトをしながら合間に子供の世話をしながら、深夜に勉強するという毎日でした。思えば、卒業後 14 年も経ってしまいました。昨年は弁理士の資格に挑戦しましたが、最難関試験の一つである弁理士の勉強は独学では思うように成果が得られませんでした。改めて、人生設計を考えた結果、医学の道を決意しました。家族のためにも一念発起しなければならない状況で、私にはラストチャンスです。もちろん家族の理解と協力は欠かせませんでした。幸い、集中力や記憶に関しては得意なほうでしたので 6 ヶ月間の集中学習で合格できたのだと思いますも私の場合、数学と理科(物理・化学)は得意科目でしたので独学でも大丈夫でしたが、どうも苦手意識のある英語はやむを得ず個人指導を受けました。社会(日本史・現代社会)と国語は普通に取れますのでほとんど独学でした。主に英語と国語はZ会、数学は大学への数学、物理と化学はSGE出版と駿台のものを中心に利用し、ほぼ 5~10 年分の過去問を解きました。英語の個人指導は齋藤先生(TOEICスコア 970/990 の実力)から学力アップのためのノウハウをあますところなく伝授していただいたことが、最大の勝因だと思っています。

…改めて感謝申し上げます。文理の皆様齋藤先生ありがとうございました。…

11. 中央大学 法学部/政経学科

山形南校卒 G・MASAOMI

“夢を見つけることが合格への近道”

現役時の偏差値56から偏差値74までアップ！

前年度は東北大学法学部前期と宮城大学事業構想後期で失敗。試験は自分が「思うほど甘くはなかった」というのが感想です。平成 16 年はセンター試験だけで合格してしまいました。僕の場合、授業は自分にとって必要な教科・科目に絞って、ほとんど毎日自習室を利用していました。一番困ったのは、将来、公務員をめざし東北大学の法学部を志望していましたが 11 月に政治家をめざしたいと思うようになり、どこの大学がいいのか悩みました。たまたま父の知人の代議士から直接いろいろな話を聞いているうちに中央大学に関心が移りました。

というのもその代議士は中央大学法学部政治学科の出身だったからです。今は、将来の夢に向かって充実した学生生活を送っています。早く将来の夢を見つけることが合格への近道！

12. 明治大学 政経学部

福島西高卒 S・TUTOMU

偏差値 30 台から早稲田大学に挑戦！

合否を決めるのはどれだけ志望大学に恋をしているかで決まる！

高校時代はクラスで最下位、当然のように地元の予備校で浪人しましたが授業が全然理解できず 7 月頃より宅浪と同じ状況になりました。当然1年目はセンター試験の結果、偏差値は 38~39 だったように思います。実力不足は知っていましたが憧れの早稲田大学に入りたいという気持ちが強く、あきらめきれずに悩んでいた時、インターネットで知ったのが仙台文理でした。早速、資料を請求、訪問し担当者の説明を聞いて「学力に合ったテキストから始めないと勉強はスムーズにいかないということや学習時間の確保が必要ということを知って、1年間死ぬ気で頑張ろう」と決意しました。私は「英語をものにできれば十分チャンスがある」との説明から 3 月の「先手必勝講座」から参加しました。3 月~5 月は英語の基本から基礎レベルまでを 1 日 10 時間くらい勉強したと思います。他の国語と政治経済は授業中心に進めました。その甲斐あって 6 月のマーク模試ではいっきに英語の偏差値が67までアップしました。夏は「勝負の分かれ道」といっきに駆け抜けたように思います。

夏のオーバーワークがたたって 9 月・10 月は体調不良が続くように授業には出席できませんでしたが勉強は休まず続けていました。模試の結果も偏差値 65~70 前後と伸び悩み、この時期が一番辛い時期でした。冬期・直前講習は記述一本で考えていたので記述型に絞ってできるだけ多くとりました。結果として、早稲田大学は惨敗しましたがこの1年間の受験勉強に悔いは有りません。僕が言えることは、合格は「どれだけ、その大学に恋をしているのか」で決まると思います。もう一つは、受験する際は「挑戦する大学」「実力相応の大学」「スベリ止めの大学」とランクを分けて受験すればいいと思います。

最後に、自分自身で「悔いがない」と言い切れれば合格です。

13. 山形大学理学部/数理

高認試験 T・TAICHI

「理解しただけではダメ！記憶しておくこと！」と気づいて合格！

高認試験は高校 1 年生 レベルの基本問題でしかもマーク式でしたので 2~3 ヶ月間の勉強で合格しましたがそれからが大変でした。高校で習う教科や科目を基本・発展・基礎・応用と段階を踏んで勉強しなければならず、理解できない個所が多々ありました。基本・発展・基礎を英、数、化・生、日史、古文・漢文を個人指導で教えてもらい一通り終わってスタートラインに立てたという気持ちでした。9 月マーク模試の自己採点の結果、思ったような得点では有りませんでした。原因が復習不足にあるとのアドバイスを受け 10 月は 1 ヶ月間自宅や自習室にこもり復習特訓に明け暮れました。このとき強く感じたことが「理解しただけではダメで記憶しなければ役に立たない」ということです。

..現役合格と同じなので、来年医学部受験するかも？..

14. 防衛大・理工

石巻西高卒 K・MASAYUKI

災難続きだったこの1年！

現役時は新潟大学失敗、石巻専修大合格も国公立大学志望優先で再挑戦を決めたのは自分に納得がいかないからでした。とにかくこの一年は災難続きでした。センター試験後の2月末に右足を骨折し、予備校訪問も出来ませんでした。そんな時、自宅まで来て夜遅くまで説明して頂きとても感謝しております。住まいは交通の便が悪く4・5月と自動車学校に通いながら授業を受けていましたので、朝6時起きでの通学です。さらに、9月に母が仕事に足を骨折、長男である私は酪農を家業としていたこともあり5時～7時までと夕方5時～7時までの時間を家業に時間をとられ思うように勉強時間を確保出来ませんでした。授業で出された問題を1週間ごとに各担当の先生方に添削してもらい本当に感謝しております。おかげさまで無事恩返しが出来ました。有難うございました。(偏差値10アップ)

15. 北陸大・薬

磐城第一女子高卒 N・KYOUKO

サプライズがやってきた！

噂を聞いて、少人数制指導の仙台文理に申し込みました。現役ではみごとに受験した全ての薬学部を失敗しました。しかし思いが断ち切れず、再度薬学部を受験した今年は3校に合格し、結果に満足しています。本当は受かるとは思っていませんでした。この結果は私にとってサプライズそのものです。

暖かくも厳しい励ましのお陰もあって最後まで諦めずに挑戦したのが良かったと思います。

16. 東北福祉大・総合マネジメント 情報福祉マネジメント

聖ウルスラ学院英智高校卒 S・MISAK

浪人生活の総括

正直、テレビやマンガのように奇跡が起きてくれないかと思いつつ勉強を頑張ってきましたが、現実には厳しいものでした。頑張れば報われると思っていましたが、みんなも努力していることに気がつきました。私の周り人は、努力を認めてくれる優しい人ばかりですが、結果が伴わない努力は本当に努力と言えるのか。「結果より過程が大事だ」という人もいますが、そうは思えません。過程をしっかりすればするほど、結果は死ぬほど欲しくなりました。正直、凄く悔しいですが、もう一度浪人したいかと問われれば NO です。

なぜなら、今年 1 年は悔いが残らない程頑張りました。同時に大学に行ってやりたいことが初めて見つかりました。今年の悔しさを次の勉強にぶつけます。

自分の人生を考えようと気づかせてくれた担任の先生には、本当に感謝しています。周囲の人々には感謝の気持ちでいっぱいです。「人間っていいなー」と思います。自分が変われば周りも変わる。努力することの大切さ。そして勉強が大好きになりました。ありがとうございました。そして、また、今後ともよろしくお願ひします。

私は浪人 2 年目にして偏差値は 40 前後でした。1 年目は何をしていたのかと言われると、某小さい予備校に通っていましたが、授業が全然理解できませんでした。高 3 は私立理系クラスで校内順位は中ぐらい、赤点ギリギリでしかも化学は未履修(数 B の授業はありませんでした)でしたので、浪人してから教科書を 1 周するのも大変でした。高校の担任に大学受験する旨を話したら鼻で笑われました。友達も浪人する人がいないので困惑していました。そんな状態での受験でしたので、当然受験した大学は全滅です。特に辛かったことは、大学受験に失敗し、浪人することを卒業式の前日に友達にリークされた時です。

1 浪目の予備校では、課題が難しく何でこうなったのかと聞かれても、うまく説明できなくて先生にキレられました。また、大爆笑されたこともあります。そんなこともあり、先生に質問しに行くのが怖くなりました。当然、授業には出なくなりました。

大学・学部・学科などの進路は迷走していました。予備校の担任と喧嘩などしたりしましたので、予備校にはいなくなりました。センター後の面談でも、担任に叱られました。面談の前には担任から 1 日 5 回くらい電話がありました。着信拒否に設定していました。

2浪目の初期

1 浪目の様子を見て、当初両親は 2 浪反対でした。どうしたら両親を許してもらえるか分からなかったため、必死に頼んで土下座までしました。その気持ちを察してかどうかわかりませんが父が理解してくれました。その時からやる気になりましたが、「1日 15 時間勉強して、志望校合格」などという気持ちになれませんでした。2 浪目の 3 月はたいしたやる気が起きないダメ人間でした。4 月初めに予備校の授業が始まるようになってようやく「やる気」になりました。

英語の教科担任

10 ヶ月間一番世話になって、一番苦勞した英語について英語を取り上げます。先生が熱血と言われるだけあって、厳しい指導もありましたが、どの生徒にも真摯に向き合っていました。そのかいあってか今では英語が好きになりました。

□英語は 56/200 点<2 浪目の 6 月マーク模試合計 388/900 点>

文系なのに英語が 56/200 点、世界史 B は 35/100 点、(去年は地理で世界史は初めての初学)・政経 50/100 点、さらに現代文 80/100 点古典が 49/100 点、数学 88/200 点、理科基礎(化学・生物)30/100 点、合計 388/900 点という絶望的な基礎学力でした。

どうしたら英語が上がるのか分からなかったので、最初に長文の解き方を指導してもらいました。まずは、先生が言う通り、先ず単語を必死で覚えました。英検 2 級の長文は 1 問位しか正解できませんでしたが、7~8 月頃になると長文の問題はほぼ満点近く取れるようになりました。実は先生には内緒で、2 級の長文を 1 日 3 題、センター型の長文を 1 日 2 題は解いていました。短文と長文は 3 周以上こなしました。

夏期講習頃からセンター試験の問題演習を始めました。当初は 5 割位の正答率でしたが、何となく当たったような気がします。英文の小説は潰滅的でした。先生からは何がどうしてダメなのか分析して改善することを指導されました。何はともあれ、先生が授業中に言った解き方ことを、必死でメモをとりました。最初は授業中に良く当てられるのがひどく苦痛でした。「考える間もなく当てるなよ！」と思っていましたが、センター試験では瞬時の判断(文の構造や和訳)は不可欠ですので、よく考えれば理に叶った授業でした。

英語 128/200 点<9 月のマーク模試合計 511/900 点>

授業の過去問演習の得点は 140 から 150 点取れるようになりました。

英語 135/200 点<1 月センター試験合計 513/900 点>

センター試験では文法が足を引っ張りましたが、長文第 6 問は完答、第 5 問は 1 問ミスで済みました。6 ヶ月前と比べたら、かなりの成績アップだと思います。努力を正しい方向に導いてくれた英語の先生は、本当にすごいです。尊敬しています。

センター試験の自己採点の結果

センター試験の一発勝負の怖さが出てしまいました。爆死です。この 1 年間なんだったのかと思うと、虚しくて死にたくなりました。先生にも両親にもお世話になりながら結果が出せなかったことは、情けないやら、惨めでした。自己採点の報告に、予備校には行きたくありませんでした。昨年なら間違いなく行ってません。しかし、散々世話になったのにここで逃げるのはよくないと思い直しました。行こうと思ったのは、友達が待っている先生が待っている、と思うと行かないわけにはいきませんでした。試験結果がどうあろうと自己採点の結果を報告に行かなければならないと思わせるほどの魅力のある予備校でした。正直、この時が絶望感でいっぱいでした。

英語の先生と話しているうちに涙が止まらなくなりました。先生から言われたことはあまりよく覚えていないのですが「でも、努力は見てたから」と言われて救われました。この 1 年は無駄ではなかったと思えた瞬間でした。将来、私も誰かにそんな言葉をかけられる人になりたいと思います。

某国公立大は B 判定がでしたので受験しましたが失敗しました。前期の中間倍率は 5~6 倍でしたが、結果を見ると 12 倍まで跳ね上がってました。振り返ればセンター試験後の気持ちの切り替えが上手くできず、2 月になってからようやく気持ちを取り戻しましたが、今思えば、落ち込んだ気持ちを引きづってしまったことは残念に思います。

今年は前年の失敗を教訓に、ルールを設けました、それは朝一番に出て、一番、最後まで勉強することを決心しました。勉強は時間ではないという人もいますが、勉強の習慣がついていない私には必要な自分なりのルールでした。もう一つ予備校で勉強しようと思ったのは、今年の担任が「自習室で勉強しろ」と耳にタコができるくらい言われたアドバイスを思い出したからです。

一浪目は「友達なんかいない」と思っていましたが、友達はとても大切です。彼女も誰よりも努力したと思います。そして尊敬しています。疲れて休もうと思っても、友達が頑張っている姿を見ると私も頑張ろうと思いました。その友達の背中を追いかけていたのかもしれませんが。気持ちが落ち込んだらお互いに励ましたり、時には気分転換に馬鹿なことをしてみたり、色々なことを話し合ったりしました。

喧嘩は一度もありませんでした。本当に気が合う友達に出会えたことは一生の宝です。一面において一生の友達ができたの友達のおかげで、1 年間頑張り通せました。その友達には、本当にいくら感謝しても足りないくらいです。

教務・進路担任

先生には考え方や生き方まで教わりました。受験勉強よりも、そっちの方が大きかったと思います。先生に言われて初めて気がついたことは「主体性」がないということでした。勉強も進路も誰の問題なのかと指摘されました。初めは「主体性」という言葉さえも知りませんでした。自覚はなかったのですが、言われたことに対して「なんでもハイ」と言っていました。人が言った事柄に対して何ら疑問を持ちませんでした。そんな私に対して一から教えて頂きました(本当にお世話になりました)。そんなわけで、主体性という意味がわかったのは実はつい最近です。何でわからないのかがわからない状態でした。目先の目標達成だけでなく、将来を見据えたビジョンなり目標を立てて、自分で考え行動できるようになりました(まだ自信はないのですが)。

17. 宮城大・看護

気仙沼高卒 S・YUKINO

センターで失敗！1月のプレテスト715/950点が、本番のセンター試験では616/950点(前年408/900点)
…特に大きく点数がアップした教科は英語66/200点⇒152/200点

1日のスケジュール、勉強の進め方

毎朝、通学時間が30~40分かかったので英語の1文1分半同程度の文章を聞きながら登校していましたが、このおかげでリスニング力は向上しました。予備校では最後の時間まで自習を日課としていました。

英数国の基礎固めは6~9月をメドとして、その後は難易度を上げながら理科、社会の勉強量を増やしていきました。授業のない時間は予習・復習をこなし、ムダとムラがないように心掛けました。特に復習が大事で、授業で分からない箇所はその日の内に解決し、ある程度理解できる箇所は、翌日、問題内容が少し忘れた状態でやってみると、理解しきれていない箇所がよく分かりましたので復習も効率的でした。

各教科のセンター対策

1. 国語はある程度点が取れていたので感覚が鈍らないように心掛けました。

現代文と小説はそれぞれ1日おきに、古文は少し苦手でしたので最初の1ヶ月で350の単語をすべて覚えてからマーク式問題を解いていました。漢文は構文を覚えれば8割は取れるようになる科目です。ただし、やらないと点数は下がりますのでコツコツやり続けることが大切です。

2. 数学は最も苦手でしたので4~5月までに数ⅠA・ⅡBを教科書からやり直し、チャート式に進みました。習得度テストは9割以上を確保しました。2次試験のことも考えて、授業でやらないところも8月までに数ⅠA Bも全てやり、苦手な箇所は何周もしました。

1回目はノートに解答を書いて、出来なかった箇所にマークをつけ、見直しの際に「なぜ」「どこで」間違えたのかがわかるようにまとめておきました(頭の中で整理しやすいように、全ての解法の簡単な流れを文章にして解答の下段にまとめました)。いろいろな問題を何ともこなしパターンを覚えました。また、問題の文言にも注目して解法を予測するようにしていました。

3. 英語も苦手教科の1つでしたので克服が課題でした。先生が効果的であると言ったものは全てこなしました。特に、英文のシャドーイングは、自分の声を聞いて覚えられ、記憶が定着しやすいく速読ができるようになりました。また、文法・熟語・単語力は入試直前まで伸ばせるので繰り返しやり続けることが大切です。センタ

- 一英語は正しい解き方をマスターしてしまえば、後は数をこなせば十分得点に反映させることができます(分からない所は飛ばして、解答し終わってからやり直していました)。
4. 化学は学習済みでいたが現役時代は、生物・化学の基礎で受験しました。夏期講習期間中までに教科書の内容を復習し知識を再確認してからマーク問題を解き始めました。
無機・有機は計算問題の演習は暗記系なのでやり易く、理論分野は計算が多いので早めに苦手な個所をこなして演習量をこなすのがいいと思います。
 5. 生物は比較的得意科目でしたので、秋頃から問題量を増やし解いていました。高校時代の参考書や教科書を2~3周した後、2次対策用の問題を1周しました。これだけのセンターレベルは8割以上カバーできました。2次試験レベルの問題をやると、マーク問題の考察部分でもほぼ知識で解くことが可能で、ある程度何が問われるのかも推測できるようになりました。マーク式問題は全て2周以上して、3回目からは完投できるレベルまで解説や教科書鵜を読み込みました。
 6. 倫政は第1志望校に必要でしたので浪人後に勉強を始めました。政経は苦手な国際分野を中心に解きました。倫理は独学でしたが日本史、地理に比べ平易ですので、教科書を3周、問題集を2周、参考書のまとめノート作成で十分対応できました何度も解いていると出てくる人物が分かるようになるので、量をこなし確実に覚えればいだけですが。倫理は必ず初見の人物がでてくるが、消去法で知っている人物の特徴と照らし合わせて選択すればミスも減ります。

二次試験対策

<総括> 基礎を固めたら目標より少し難しいレベルまで解けるようにしておく、難しいものが出てパニックにならずに済みます。誰でも浪人中は精神的にキツイ時期があります。そんな時は友達や先生と話しをすると気持ちが楽になります。一度決めた目標はトコトンこだわる続けた方がモチベーションが維持できます。

少人数制予備校ならではの良さを活用して最後まであきらめずに勉強し続けることが大切だと思います。また、あまり張り切りすぎず、適度に休憩もとりながら効率的に学習できました。

英語:センター試験では知らない単語があっても正答できるが、二次の記述試験だとそういう訳にはいかないの難しいものまで覚えておきました。宮城大は高度な知識は必要ないと言われているが、予測を超えた難易度の問題でも対応できるように少し難しいものも解いていました。二次試験の英文解釈、和訳は差をつけるには非常に効果的なので徹底的に対策をしました。

何れも先生が準備してくれたものを何度も繰り返し解いていくと、文章の構造がわかるようになってミスも減りました。先生が用意してくれた課題は、苦手分野の強化にとっても役に立ちました。また、多義語も狙われやすいので出題頻度の高いものはマスターしておくのが賢明です。

各大学毎に出題傾向が異なるので出来るだけ多くこなしておく方がいいと思います。私の場合は、過去問を前記・後期併せて12年分を2周しました。さらに長文は宮城大のレベルの問題を30題、難関大レベル20題を各2周し、苦手な問題は何度も解いて文の構造を徹底的に理解しました。

現代国語の論説文対策

宮城大の過去問のみ行いました。苦手な分野は資料などや一般的な知識を入れていくといいと思います。本番は時間との勝負なのでグラフの数、文章量から与えられた文字数を割り振ってどの部分を何字で埋めるのかを考えながら解きました。

…下書き用紙は配布されるが、下書きしている時間がないので頭の中で、ある程度文章の流れを決めてから、解くしかありません。…

個人面接で面接官が2名。点数化されていません。

<質問 されたこと>

大学への志望理由

看護師を目指したきっかけ

卒業後のビジョンと年齢を重ねてからのビジョン

セルフケアについて

学びたい分野について少し詳しく聞かれる

相手と会話する時に大切にしていること

自分の長所と短所を 10 秒で

全員に質問する質問 1 つ(例:もし先生の教えることに疑問や矛盾があったら、どうするか)

18. 東京薬科大・薬

私立・明桜高(特進)卒 S.RYOTA

私は浪人 2 年目に、行きたい大学に合格した方がいると聞いたのがきっかけで仙台文理にお世話になりました。。私は、集団授業に通ったことがありませんでした。ただボーと聞いているだけの集団授業は、どうしても会わないと感じていました。そんな時に、仙台文理で苦手科目を個別で教えて頂きました。

現役、浪人 1 年目は 1 時間かけて秋田市にある家庭教師 T という塾に通い個別指導を受けていました。とにかく暗記するというのが私の勉強スタイルでした。しかし、この勉強スタイルでは限界があると感じました。心機一転、仙台文理の個別指導を受けることにしました。特に、物理は暗記するだけでなく、筋道を立ててしっかり考えてからアウトプットすることの大切さを実感しました。個別で物理を教えてもらっている時は、「考えているの?」とよく注意されました。「一年目何していたの?」と、時にはとても厳しい言葉もかけられました。その反面、疲れていないか、悩みごとはないかなどと勉強以外の事にも気をかけて頂きました。時には厳しいのですが、親身になっていろいろなことを聞いてもらいました。悩みを打ち明けられることができるのが仙台文理はいいところです。問題の解決策を提示してもらいました。また話を聞いてもらうことで安心して勉強に取り組みました。この 3 年間とても辛かったのですが得るものも大きかったと思います。支えてくれた、両親、先生方に感謝しています。ありがとうございました。

国語<現代文>

国語・時間の余裕があったらやる⇒1 週間かけて 1 年分終わらせるようにする。

・復習する解く問題を解く⇒本文を読み直す⇒選択肢を読む、何で自分の答えが×なのか、どうして答えがこれなのかを考える。

・速く読む練習・全体像をつかむ練習

<漢文>書下し文⇒全文解釈⇒問題文の順で復習、メリハリをつけて読む

<古文>全文解釈⇒もう 1 度問題に戻る⇒答え合わせ

<物理>

・何故この式なのかをグラフ式で考える(公式を覚えているだけでは解けない)

・基礎(基本)は教科書・暗記だけの勉強はダメ

<英語>

・課題プリントをすべてマスターしたら力がつく・語彙力が不足している ・暗誦する

・英英辞書を使うことで英文解釈を強化

「総括」

今回の 10 日間で国語、物理、英語に関して、まだ基礎力が完全ではなかったということを感じた。

- 物理は教科書の重要事項を覚えていなかった
- 国語は読み慣れていなかった
- 英語は語彙力が欠落していた

など改善点が多くわかりました。10 日間ありがとうございました、また機会があればよろしくお願いします。

19. 武蔵野大 人間社会 人間科学

仙台二華高卒 M.MOMOKO

1 ヶ月半で TOEIC スコアが 235 アップ(TOEIC スコア 990/990 の先生に指導して頂きました)

私は、現役で合格した看護学科を9月で休学し、再度受験勉強を始めました。初めは個別指導で TOEIC 対策をしました。1 ヶ月半という短い時間で効率的に多くの単語をインプットできました。おかげさまで現役時のスコアが 575 から 810 までアップすることができました。語彙力が上がると英文を速く読めるようになったのが、一番のポイントだったと思います。

その後、センター試験の対策を始めたのが 11 月でしたが、授業で大切な個所をおさえ、自習で基礎的なことを繰り返しました。そのかいあってか、徐々に理解が深まり、予想問題を解いていても手ごたえを感じられるようになりました。半年以上のブランクがあり、どこまで点数を伸ばすことができるという戦いでしたが、最終的には現役の時頼点数を上げ、希望の進路に進むことができました。指導してくださった先生方には本当に感謝しています。ありがとうございます。

20. 東京農業大学 国際食糧情報学部

仙台第二高卒 T. MAYUKI

一筆啓上

拙い文章ですが、感謝の気持ちを伝えたく、一筆啓上させていただきます。

私が文理の門を叩いたのは、7月の初め頃でしょうか。その時は、ただ漠然と大学進学を考えていて偏差値は、30代前半で、ひどい精神状態でしたね。〇〇さん出会わなかったら廃人になって今頃は、精神病院にいたでしょう。秋頃に成績が徐々に上がって、自信がついてきたのも先生暖かい心遣いとアットホームな文理の雰囲気自分があっていたからだだと思います。

東京農大国際食糧情報学部には、国際経験を積んだ先生方が集まっています。卒業生の多くは青年海外協力隊や JICA などの国際機関で働くことを志望する様です。私は以前から国際関係の仕事に就いてみたいと思ったこともあり、より将来が具体化されてきたような気がします。東北大学には進めませんでした。今では東京農大に進学することになってよかったのかもしれないと思う様になりました。今でも自分が落ち込んでいた時に頂いた書類を大事に保管しております。最後まで、あたたかく励ましてくださり心から御礼申し上げます。合格祝賀会でまた会いましょう。

さようなら

続いて

医師であるご両親様さまからもお手紙を頂きましたのでご紹介いたします。

〇〇先生

この一年間、大変お世話になりました。文理の家族的な雰囲気が MSAYUKI にはとても合っていたようで、文理に通いはじめてから精神的にはみるみる元気になっていく姿を見て本当に救われる思いでした。

第一志望ではありませんでしたが無事志望大学に合格が出来ました。東北大も模試の判定ではいい線まで行っていた事が今後の自信につながるものと思っています。もし出会っていなかったらどうなっていたらと思うくらい先生には感謝の言葉もありません。これからも MSAYUKI のような迷える若者のためにご活躍を期待しております。

本当の有難う御座いました。

父より

よいカウンセラー〇〇様に出会えて、地獄に仏でとつても助かりました。〇〇様もご健康に留意されて今後とも、今のようなお仕事を続けて下さい。

母より